

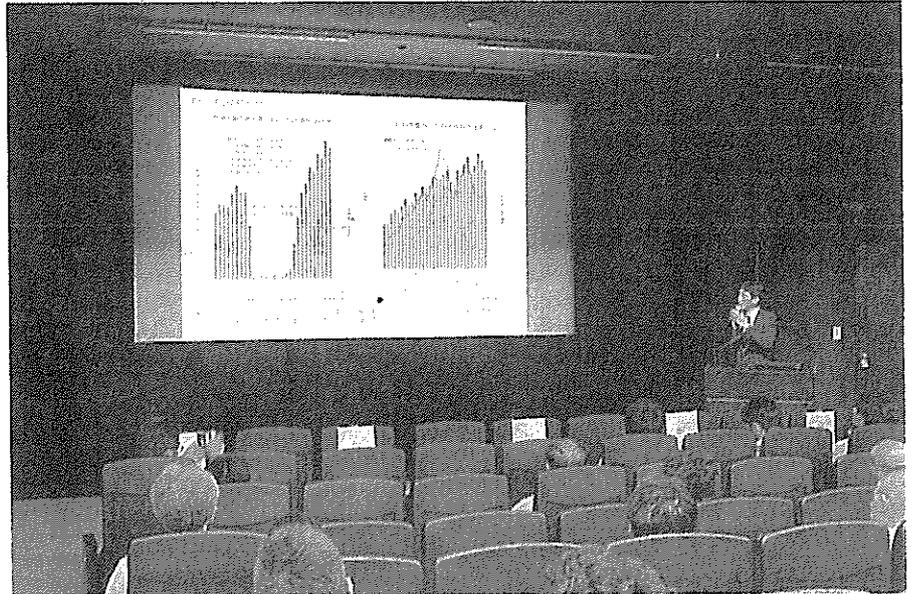
河北新報

2025年（令和7年）8月6日（水）

“地価上昇の背景 解説”

地価上昇の背景 解説

仙台 企業向けセミナー



宮城県内の最近の経済動向について解説する田口氏

不動産や金融の専門家らで構成するアセットブレインズ仙台ネットワーク（仙台市）は7月28日、宮城県内の地価や経済の動向を学ぶ会員企業向けのセミナーを仙台市青葉区のせんだいメディアテークで開いた。

仙台アセットコンサルタンツ（同）の右田貴紳代表はコロナ禍以降、主要都市の間で地価の動向に差が生じていると指摘。大規模な再開発プロジェクトが奏功して地価の上昇が続く福岡市の状況などを説明した上で「仙台市も都心再構築を

推進しているが、建築費の高騰が続く中、採算性を考慮すると事業に踏み出すのが難しくなっている状況だ」と話した。

七十七リサーチ&コンサルティング（同）の田口庸友首席エコノミストは、建築業界などの人手不足問題に言及。外国人労働者数は増加傾向にあるものの、「急激な円安の影響でドル建ての平均求人賃金が目減りし、日本の労働市場の魅力は低減している。治安の良さや良質な就業環境などソフトの魅力を高めなければ外国人労働者すら集められなくなる」と説明した。

多くの人口が首都圏に流出している状況にも触れ「これからの地方の最大の課題はリソースの不足。多様な主体による連携が不可欠だ」と強調した。